

2023 年度 コーチング体験研修 実施報告書

CPD 委員会 山本達也
地域産業支援委員会 須郷 均

- ・ 研修日時： 2023 年 6 月 17 日（土）13:00～17:00 前後に準備及び撤収作業 90 分
- ・ 研修会場： 新都心ビジネス交流プラザ 4F-A 会議室（さいたま市中央区上落合 2-3-2）
- ・ 参加人員： 会員技術士 13 名（うち運営スタッフ 2 名）、講師およびコーチング研究会見学者 6 名
- ・ 講師： 五十嵐 久（いがらし ひさし）氏

株式会社コーチビジネス研究所代表取締役 <https://coaching-labo.co.jp/campany>

前年度まで講師を担当された小野武明氏の紹介により、中小企業診断協会コンサルティング・コーチング研究会を通じて今年度の講師をお願いする運びとなった。

1. 研修内容

- ・ 講師、参加者自己紹介—目的と課題共有
- ・ 自己理解と他者理解（コミュニケーションスタイル簡易診断）
- ・ 技術士がコーチングを学ぶ意味
- ・ コーチングの基本（他の対人支援との違い、前提となる考え方、コーチングが機能するための条件）
- ・ コーチング会話の基本型（受講者をクライアントに見立てたデモセッション）
- ・ 3大スキル（承認、傾聴、質問）
- ・ コーチングセッション演習（“よき相談員になるために”をテーマに3～4名一組で体験）

2. 研修状況

15名の事前申込者のうち13名が参加。過去に同種の研修を受けた方も多数いたが、新たな切口によるスマートな導入により新鮮な感覚のもとに受講できた。

コーチングについて語られるとき必ず耳にする「傾聴」に関しても、表層的なテクニック以前に技術士（相談員）が自覚すべきことについて示唆に富む例示・説明があった。

とにかく私たち技術士は質問することの意義を、自らが用意すべき「良い回答」に向けた相手からの情報収集と捉えがちだが、視点を変えて、質問者自身が問題の本質に気付くことができれば自ずと解答への展望が開かれる。まさに「答えは相手の中にある」のである。

講師を丸く囲むような座席配置も相まって、和やかな雰囲気の下、多くの質問が寄せられた。これら一つひとつに誠実に対応してくださった五十嵐講師に敬意を表したい。参加の13名が各人各様の成果を得て研修を終えることができたのではないと思う。

本研修は、第一義的には地域産業支援委員会の登録相談員に対する必須の登録要件としていることにあるが、これにとどまることなく、次回以降、他者支援の重要性に関心を寄せる多くの会員技術士に広く参加を勧めたい。



講 習



セッション演習